

慶應義塾大学大学院
2020年度 商学研究科修士課程入試問題

英 語

以下の設問すべてに答えなさい。ただし、設問 1 と設問 2 は別の解答用紙を使うこと。解答は指定のない限りすべて日本語の文章で書くこと。所定の行数を超える答案は採点しない。

設問 1 以下の文章を読んで、次の問いにすべて答えなさい。

問 1 下線部①にある investments の問題点とは具体的に何であるか。(1) empire-building について、(2) entrenching について、それぞれ 3 行以内で説明しなさい。

問 2 下線部②について、これがなぜ bad news なのか、2 行以内で説明しなさい。

問 3 下線部③にある bank と shareholders について、(1) 両者の利害が一致している点と、(2) 両者の利害が不一致な点を、それぞれ 3 行以内で説明しなさい。

問 4 下線部④にある free-rider problem について、その理由を 3 行以内で説明しなさい。

問 5 下線部⑤について、only solution とされる理由とその問題点をあわせて 3 行以内で説明しなさい。

慶應義塾大学大学院
2020年度 商学研究科修士課程入試問題

英 語

設問 2 以下の英文を読んで次の問いに答えなさい。

問 1 下線部①を日本語に訳しなさい。

問 2 出生率が下落した理由として挙げられているものを3つ記しなさい。

問 3 出生率の低下が日本政府による移民法改正にどのように関連しているかを述べなさい。

(出典: “Face challenges of a shrinking, aging population”. The Japan Times, January 10th, 2019 より抜粋)